第 33 回運営会議 (2004. 4. 10 開催) 結果報告

2004.4.15 庶務発信

開催日時:

2004年4月10日(土) 10:00~12:00

場 所:

ぱ・る・るプラザ京都 6階 会議室2

参加者数:

運営会議委員6名(委員長、利水部会長、治水部会長、淀川部会長、住民参加部会長、猪名川部会長)、河川管理者3名

検討内容、

1 第29回委員会の議事内容、開催要領

決定事項

・第29回委員会は、5月8日(土)、京都市勧業館「みやこめっせ」にて、 $16:00\sim19:00$ に開催されることが確認された。主な検討事項等は以下の通り。

- 1)前回委員会からの状況報告
- 2)河川管理者からの基礎案報告
- 3)同報告に基づく審議
- 4)ファシリテーターと委員との検討会の議事について
- 5)河川管理者からの委員会の新たな役割についての要請
- 6)一般傍聴者からの意見収集
- ・5)は、大きく「計画(案)に対して意見を述べる」、「計画の内容の進捗点検」、「再評価、 事後評価の審議」の3つが想定される。新たな役割については、河川管理者が資料を用 意し、河川管理者から委員会に対して、運営会議にて了解された旨を報告する形で要請 し、了承されたら、後日、文書により正式な手続きを進めるものとする。
- 2 木津川上流河川事務所開催の住民対話集会質問への対応方法
- ・3月20日対話集会にて出された質問について、基本的にはそれぞれ質問を受けた者が対応を決める。その際、委員会に対して出された質問については、「新たな河川整備をめざして一淀川水系流域委員会 提言ー」、「提言別冊」、「淀川水系流域委員会意見書」、「意見書抜粋版」、「木津川に関わるニューズレター」を送付し、読んでいただき質問が残るようであれば委員会に問い合わせていただくこととした。なお、匿名の質問者に対しては、資料は送付しない。河川管理者に対する質問については、公開を考えているが、木津川上流河川事務所が対応を決めることになるので、別途庶務を通じて調整することとなった
- 3 ファシリテーターと委員との検討会の位置づけと進め方
- ・ファシリテーターと委員との検討会は、5月15日(土)10:00~13:00 に開催されることが確認された(場所は未定)。当日は河川管理者にも参加してもらい、一般傍聴も認めるものとする。ファシリテーターに対して、あらかじめ対話集会の良かった点や課題について整理した資料を作成、提出していただき、これをもとに意見交換を行う。
- ・当日進行役は住民参加部会長とする。進行の詳細は、住民参加部会長と庶務にて調整することとなった。

4 その他

- ・第 30 回委員会の開催日は、6月 20 日~30 日のいずれか (3 時間を予定) で調整する こととなった。
- ・第 30 回委員会に向けた第 34 回運営会議は、6月7日~委員会開催2週間前の間で調整することとなった。

以上

[※]このお知らせは委員の皆様に主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。